



蔵王山



2024 年
(令和6年)
7月19日発行
第2号

子どもたちが安全に学べるよう、暑さ対策をとっています

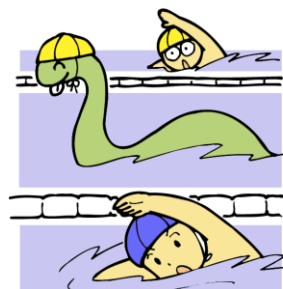
7月も半ばを過ぎ、夏休みまであとわずかになりました。今年は梅雨らしい日が多かったようですが、いよいよ梅雨明けも近づいてきました。

夏本番を迎え、心配なのが熱中症です。現在も、登校時には、子どもたちは汗びっしょり。熱中症対策の日傘や首に巻く保冷剤など、ご家庭でいろいろな対応をとってくださり、ありがたいことです。気温、湿度が上がり始める頃、熱中症の危険度がとても高くなるといわれることから、6月から屋外、体育館での活動について暑さ指数をもとに判断しています。プールサイドへはテントを張って、その下で見学させていますが、体調によって水泳ができない子は、屋内の涼しいところで自習をさせています。いろいろな場面で熱中症対策をとっていますが、それでも最も心配なのが下校時です。6月から下校時の暑さ指数(WBGT)が高い日は、下校前に水分をとらせたり、水筒にお茶があるか確認したり、子どもたちに塩分チャージタブレットを摂って下校させたりしています。

夏休みまで、子どもたちが元気で安全に学校で学べるよう、気をつけてまいります。



子どもたちは、登校したらすぐに花などの水やりをしています。1年生はアサガオ、2年生はミニトマト、3年生はホウセンカと稲、栽培委員会はプランターのマリーゴールド。子どもたちの思いやりが植物を育てています。



人を大切にするこば・心

蔵王小学校の子どもたちは、とてもあたたかな心もち、安心感の中でいろいろなチャレンジをしています。

しかし、子どもたちの遊び、交わすこばの中に、気をつけて見てやらなければならないと感じることもあります。遊びの中で、故意かどうかにかかわらず、人を大切にしていない言葉を使うことがあること、また、それを聞いても問題に感じていないこともあります。

子どもたちは、無意識のうちに聞こえてくる言葉を「獲得」し、自分の語彙にします。中でも、対戦型オンラインゲームなどで人を傷つける言葉や人の生死に関わる暴力的な言葉などに、知らず知らずのうちに触れ、自分の言葉にしているかもしれません。学校でも、そのような中で覚えたのだろうと感じる言葉を聞くことがあります。

こばは心を表します。子どもたちのこばから、その心をしっかり見ていかなければと思います。また、大人のつくる言語環境が大切ですので、まずは教職員が子どもたちを思いやる言葉をしっかりかけていきたいと思っています。

安全・安心な制服を選んでいただけるように

6月のPTA総会時に生徒指導主事からお伝えした制服の規定について、あらためてお知らせします。今年度から、本校の制服を「登下校時、学校では決められた服装をし、安全に、安心して学習ができる」ことを基本とし、規定に男女の別をなくしたり、選択肢を増やしたりしています。また、体育では首筋に紫外線が当たることを防ぐ、たれ（フラップ）付き赤白帽を選んでいただくこともできます。

詳しくは、本校HP「2024年度（令和6年度）蔵王小学校楽しく、仲良く、安全に学校生活を送るために」をご覧ください。また、ご不明な点は、本校へ、いつでもお問い合わせください。

ご購入はお近くの制服業者まで。またはネットショップでもご購入いただけます。



左から、キュロットスカート、クォーターパンツ、たれ（フラップ）付赤白帽（いずれも、amazon.co.jpより。）

大雨警報が発令された時の学校の対応について

4月に、すでにお知らせしていますが、朝、大雨警報が発令されている時の、学校の対応基準について、あらためてお知らせします。

午前6時の時点で、福山市内に警報が発令されている時には、学校周辺の実際状況を確認するとともに、雨雲レーダーによってその後の天気の変化を確認した上で、城東中学校区（城東中学校、緑丘小学校、蔵王小学校）各校長が連絡を取り合い、休校にするか、通常通りの登校にするか、または登校時刻を繰り下げるかといった判断を行います。そして、通常と違う対応を行う場合は、午前6時30分までにメールで保護者連絡を行います。また、登校とした場合は、本校教職員が通学路を通りながら、「ながら見守り」を行います。

今年度はじめて6時の時点で警報が出ていた7月1日（月）の対応では、判断した時点では小雨になっており、雨雲の動きでは朝の一時的な強雨が予想されましたが、その後は雨が止むようになっていたため、通常通りの登校と判断しました。

しかし、ちょうど、子どもたちの登校時間が強雨と重なったため、保護者の皆様には、大変ご心配をおかけしました。また、児童会児童に大雨警報の中、挨拶運動をさせていたことは、学校の組織的な判断ができていなかったためでした。危機管理体制が不十分であり、大変申し訳ありませんでした。

警報が発令されている中での登校の可否判断は、天気の変化、地域の状況、給食・ご家庭への影響等様々な条件をもとに判断しますが、もし、学校が「通常通りの登校」と判断をしても、場所によって危険な状況があれば、学校へ連絡し、登校を遅らせるようにして下さっても構いません。このような場合は、朝の留守電を解除し、ご家庭からの電話を受けられるようにしています。校区内でも、状況が違う時はあると思いますので、各ご家庭、登校班で、お子様の安全を最優先にして、ご判断していただくことも必要だと思います。